

制酸剤

日本薬局方 乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒

乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒「ヒシヤマ」

DRIED ALUMINUM HYDROXIDE GEL FINE GRANULES

承認番号	16000AMZ06065
薬価収載	1970年8月
販売開始	1970年8月
再評価結果	1982年1月

貯法：室温保存、開封後吸湿注意

使用期限：容器等に記載

※注意：「取扱い上の注意」参照

※※ **禁忌（次の患者には投与しないこと）**
 透析療法を受けている患者〔長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血等があらわれることがある。〕

【組成・性状】

1. 組成

販売名	乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒「ヒシヤマ」
有効成分（1g中）	日本薬局方 乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒 1g

2. 製剤の性状

性状	白色の散剤（細粒剤）
----	------------

【効能・効果】

- 下記疾患における制酸作用と症状の改善
 胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）
- 尿中リン排泄増加に伴う尿路結石の発生予防

【用法・用量】

乾燥水酸化アルミニウムゲルとして、通常、成人1日1～3gを数回に分割経口投与する。
 なお、年齢、症状により適宜増減する。

※※ **【使用上の注意】**

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
- 1) リン酸塩の欠乏している患者〔アルミニウムは消化管内でリン酸塩と結合し、その吸収を阻害する。〕
 - ※※2) 腎障害のある患者〔長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血等があらわれるおそれがあるので、定期的に血中アルミニウム、リン、カルシウム、アルカリフォスファターゼ等の測定を行うこと。〕

2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
クエン酸製剤 ・クエン酸カリウム ・クエン酸ナトリウム 等	血中アルミニウム濃度が上昇することがあるので、同時に服用させないなど注意すること。	キレートを形成し、アルミニウムの吸収が促進されると考えられる。
血清カリウム抑制剤 ・ポリステレンスルホン酸カルシウム ・ポリステレンスルホン酸ナトリウム	これらの薬剤の効果が減弱するおそれがある。	アルミニウムイオンと非選択的に交換すると考えられる。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 ニューキノロン系抗菌剤 イソニアジド ジギタリス製剤 フェニトイン フェノチアジン誘導体 β遮断剤 非ステロイド性消炎鎮痛剤 等	同時に服用することにより、これらの薬剤の吸収を遅延又は阻害するおそれがあるので、服用間隔をあけるなど注意すること。	本剤がこれらの薬剤とキレートを形成又は吸着し、消化管からの吸収を遅延又は阻害する。
ペニシラミン	ペニシラミンの効果が減弱するおそれがある。	同時投与した場合、ペニシラミンの吸収率が低下する。
ミコフェノール酸モフェチル	ミコフェノール酸モフェチルの作用が減弱するおそれがある。	併用により、ミコフェノール酸モフェチルの吸収が減少すると考えられる。
甲状腺ホルモン剤 ・レボチロキシシン ナトリウム 等	同時に服用することにより、これらの薬剤の吸収を遅延又は阻害することがあるので、服用間隔をあけるなど注意すること。	消化管内で本剤と吸着することにより、これらの薬剤の吸収が阻害される。
胆汁酸製剤 ・ウルソデオキシコール酸 ・ケノデオキシコール酸		
キニジン 等	併用薬剤の排泄が遅延することが知られている。	尿のpH上昇による。

3. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
消化器 ^{注1)}	便秘、悪心、嘔吐等
※※ 長期投与 ^{注2)}	アルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血等

注1)このような症状があらわれた場合には、減量、休薬又は緩下剤の併用等の適切な処置を行うこと。

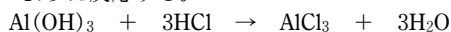
注2)このような症状があらわれるおそれがあるので、慎重に投与すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

※※【薬効薬理】

ゲル状で胃内に分散し、両性化合物として過量の胃酸を中和する（1gは0.1mol/L塩酸250mL以上を中和する）。胃酸とは次式のように反応する。



胃酸度をpH3.5～4.2に維持する。中和速度は炭酸水素ナトリウムに比べれば遅いが、中和に当たって二酸化炭素を遊離せず、二次的な酸分泌を起こさない。また、吸収されることも少ない。粘膜を被覆保護し、収れん作用を呈し、またペプシン、トリプシンを不活性化するなど、消化性潰瘍治療に適している。¹⁾

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：乾燥水酸化アルミニウムゲル

(Dried Aluminum Hydroxide Gel)

- 性状：・白色の無晶性の粉末で、におい及び味はない。
・水、エタノール（95）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
・希塩酸又は水酸化ナトリウム試液に大部分溶ける。

※【取扱い上の注意】

安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験〔室温（1～30℃）、4年間〕の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒「ヒシヤマ」は通常の市場流通下において4年間安定であることが確認された。²⁾

【包装】

500g

※※【主要文献】

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書
- 2) ニプロファーマ（株）：社内資料（安定性試験）

※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

ニプロファーマ株式会社 製品情報室

〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番7号

☎ 0120-226-898

FAX 06-6231-9849



製造販売

ニプロファーマ株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番7号